

島根県、鳥取県に議員研修

平成22年8月9日(月)～12(木)



島根県環境管理センター

〔クリーンパークいすも〕

平成4年3月に第3セクターによる財団法人が設立され、環境事業団により施設の建設が進められた。島根県で初めての公共関与による産業廃棄物最終処分場は、地域住民の快適で潤いのある生活環境づくりと経済の健全な発展のモデル的施設として進められた。建設までには、地元説明会や協議会を何百回と重ね、信頼されたうえでの最終処分場開業となった。



敷地面積：23.4万㎡
供用開始：平成14年4月

島根県斐川町役場にて産業振興に関する研修、斐伊川に囲まれた豊かな平野を持つ穀倉地帯の同町は農業が基幹産業であるが、近年は企業誘致に力を注ぎ、誘致企業の製品出荷額は平成7年以来連続、島根県トップを占めている。

産業振興による雇用の場の確保、交通の便の良さ、恵まれた自然環境などにより、島根県内では数少ない人口の増加する町となっている。一町一農場方式」を目指し、担い手への明確化を図るとともに、農地を集積し、作業能率の向上に努めている。



鳥取県湯梨浜町研修、同町シンボルの東郷池にH20年からアダプト(養子にする)プログラムを導入し環境美化活動に取り組んでいる。20団体、600人の参加者があり、環境美化、情報提供(不法投棄)の活動に補助金を拠出するなど、東郷池を中心にした町の取り組み、環境に対する町民の姿勢、意識の高さが感じられた。グラウンドゴルフ発祥の地であり、毎年発祥地大会を開催し全国から沢山の参加者で賑わっている。



産業、総務、広報、其々の委員会で 視察研修を行いました

広報調査特別委員会

8月25～26日

東京都千代田区平河町 シェーンバッハ砂防



広報誌の作り方、自治体ホームページの活用方法について研修しました。わかりやすい文章表現・表記として、箇条書き、起承転結を肝に銘ずべし。謙譲語に多いミス、敬語の過剰に気をつけること、漢字は常用漢字を使うこと。読まれる広報誌の作り方として、情報は伝わるのが大事、広報は作るだけでなく手に取られ、読まれるのが大事。受け手の視点で企画する、広報誌の役割は情報伝達、説明責任、啓蒙、双方向対話等、読者に対し何を伝えるか、何が知りたいか、企画、紙面構成、デザインに気をつけること。自治体ホームページの役割では、ターゲットは誰か、情報はどこにあるか、運用はリアルタイムでアップデートすること。一方通行の情報発信の時代は終わり、双方向の情報発信、ブログ、ツイッターの活用等について学んだ。



総務文教常任委員会

9月30日～10月1日

大分市川添町および野津原町

総合型スポーツクラブ（川添なのはなクラブ＆Nスポーツクラブ）

イ：川添なのはなクラブ 1,950戸、6,777名の区民全員が会員である。大分市には6つの総合型地域スポーツクラブがあり、川添なのはなクラブ、次のNスポーツクラブもその中にある。①地域住民の目線に立った参画・協働の活動②地域住民による意識の改革③広報誌、ホームページ等による情報の共有化の3本柱をもとに地域づくり、人づくりを目指している。

ロ：Nスポーツクラブ 七瀬の里と野津原の頭文字のNをダブらせたイニシャルである。野津原町は人口こそ4,900人であるが、スポーツ人口を近隣の町から取り込み、他に類を見ない程の多くのイベントが計画されている。同クラブではいち早くNPO法人を立ち上げており、自主財源の確保策として、介護方面にも関心を持ちデイサービスへの進出も考えている。

両クラブとも、総合型地域スポーツクラブを単にスポーツだけのクラブとして捉えず、健康管理から高齢社会に向けた対応まで、広い範囲で関連を持たせた地域づくりがなされていた。



産業厚生常任委員会

10月4～5日

佐賀県武雄市役所、佐賀県農業試験研究センター

イ：鳥獣害防止総合支援事業について、市営業部「いのしし課」の取組み

- ・市民の苦情に対応すべく、猟友会1名＋一般1名のパトロール隊を編成。
- ・1頭あたり5,000円の補助に加え、口蹄疫対策時・県下一斉捕獲補助金実施
- ・21年度に肉処理加工施設を建設し特産品開発に取り組む。

ロ：レモングラスを使用した農商工一体となった新たな特産品づくり

武雄市の知名度向上とイノシシ忌避剤としての効果を見込み導入、雇用機会の提供、耕作放棄地の解消に役立つほか、抗アレルギー効果(花粉症抑制作用)、米のカメムシ被害抑制効果もあることがわかった。

ハ：地球温暖化対策米について、佐賀県農業試験研究センター

適正な品種導入・改良とコスト低減に取組み、米の1反あたりの生産コストは10万円を切り、北海道より低コスト。近年の温暖化に対応すべく改良品種「さがびより」を推進。



議会日誌

9~11月

主なものを載せています

- 9月2日 総務文教常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 15日~ } 9月定例議会
- 27日 }
- 30日~ } 総務文教常任委員会視察研修
- 10月1日 } (大分県川添町、野津原町)
- 4日~ } 産業厚生常任委員会視察研修
- 5日 } (佐賀県武雄市、川副町)
- 8日 産業厚生常任委員会
- 12日 議会全員協議会
- // 総務文教常任委員会
- 20日 産業厚生常任委員会
- 25日 玉名郡議員研修
- 27日 総務文教常任委員会
- 11月2日 議員研修 (熊本市)
- 9日~ } 議会運営委員会視察研修
- 10日 } (芦北町、鹿児島県長島町)
- 11日 広報調査特別委員会研修 (熊本市)

Topic!

ともだちできたよ
はい! チーズ!!



子どもの丘保育園に登園して2ヵ月が経とうとしています。毎朝、先生方の明るい元気なあいさつで迎えてもらっています。

園では歌や読み聞かせの時間が特に好きなようで、帰りの車では手を動かして歌い、家では先生の真似をして、片言ではありますが、本を読んで最後に「おしまい」と言ってニコニコ笑っているのをみると、微笑ましく感じています。保育園へ登園することも嫌がらず、毎日楽しく園生活を過ごしているようです。

花組 西田華菜ちゃんのお母さん
西田亜希さん

砒素(ヒ素)を吸収するセンシブタ



編集 (広報調査特別委員会)
委員長 打越潤一
副委員長 井下忠俊
委員 田口浩
委員 鶴地仁
委員 境田敏高
発行責任者 本 田 真 二

植物が鉛、ヒ素、、、高濃度で蓄積
金や鉛、ヒ素などの重金属を高濃度で蓄積するコケやシダ植物が注目を集めている。汚染された水を処理する技術や、汚染土壌に植えて金属を蓄積した後に刈り取り、汚染を低減させる技術に応用されている。こうした植物は古くから知られ、地下鉱脈を探す目印にも使われた。金山特有の植物があるといったことを実証した形であるが、シダ植物の中にはヒ素を他の植物とはけた違いの2万倍もため込むものがあり、たき火の後などによく生えるヒヨウタンゴケは鉛を蓄積し、金も蓄積するという。金を含む排水から15グラムの金を回収した成功例もある。折しも、町は産廃処分場問題で大変であるが、植物を利用して有害な物質を除去する技術の開発が進めば世界にとって朗報である。とても無理な問題だと諦めることなく、研究を続けている人たちに感謝したい。(境田)

ティーブレイク
編集後記

